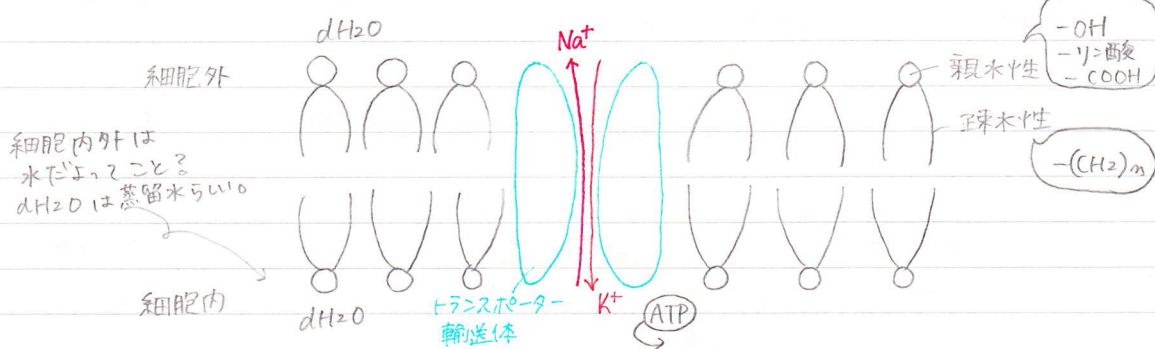


生化学

① 脂質二重膜

細胞膜の大部分を占めるリン脂質による膜。

細胞膜はこれに蛋白質や糖脂質 etc が絡んで細胞膜が形成される。



細胞の内外は主に水に満たされているため、親水性の頭部を外側に、疎水性の尾部を内側に2重層を作って並んでいる。

外側は細胞内外の環境になじみ、内側は脂肪酸が充滿しているため

細胞内外を遮断することができる。細胞膜の特徴は小分子や疎水性のものは通しやすく、イオンは透過しにくいところである。生体代謝維持に必要な

イオンはリン脂質の間に入りこんでいるトランスポート-輸送体で

行われている。細胞外では Na^+ が、細胞内では K^+ の濃度が高く

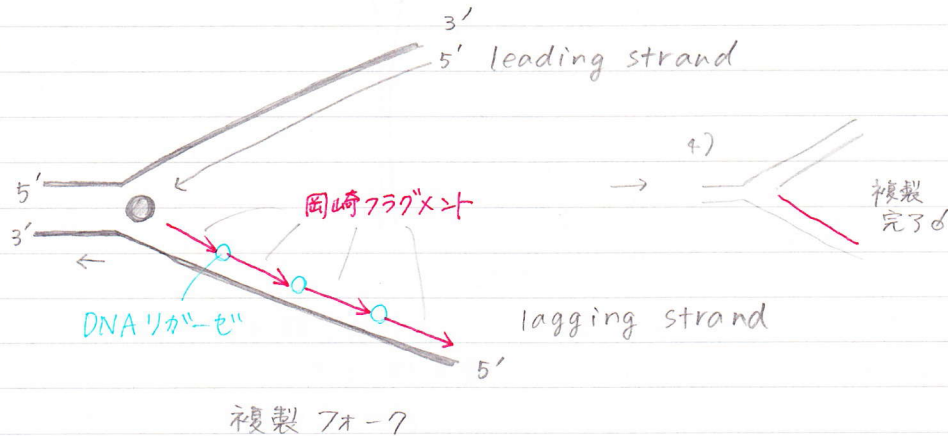
これらの濃度調整はトランスポート-輸送体で行われる。これは能動輸送でATPの加水分解エネルギーを用いるものもある。

ポイント💡

- ① 構造：親水性、疎水性、向き
- ② 細胞膜は何を透過させるか
- ③ トランスポート-輸送体

② 岡崎フラグメント

DNA複製における lagging strand の合成時に
DNAプライマーゼと DNAポリメラーゼ III によって形成される
比較的短い DNA断片である。



DNAポリメラーゼによるDNAの合成は5'→3'の方向にしか行えないが、
ラギング鎖では3'→5'の方向への合成を必要とする。よって段階的に行われる。

- 1) DNAプライマーゼによって数塩基の短いRNAが合成される。
(プライマー)
- 2) 3'末端から DNAポリメラーゼ III によってDNAが合成される。
- 3) この短い断片が 岡崎フラグメントで、DNAリガーゼによって
断片はつながれる。この際 ATPを基質としている。

1967年 岡崎令治によって発見された。

生きていれば(44歳没)ノーベル賞は確実だったらしい。とんまい。

(注) wikipediaを主に参考にしましたが
タタ分大丈夫です。

空欄はそこまで大きくなかったので
ご安心を。